

婦人科外来からご案内

～骨粗鬆症について～

骨粗鬆症(こつそしょうしょう) とは

骨粗鬆症は骨の強度が低下し骨折しやすくなる病気です。

骨の強度低下の要因として女性ホルモンであるエストロゲン欠乏、加齢、運動不足などが知られています。そのため、**閉経後の女性が発症しやすい**ことが知られています。

骨粗鬆症は骨折しやすくなるだけでなく、老後の生活の質を低下させ、長い目で見ると骨折の有無に関わらず死亡のリスクを上昇させる病気です。



骨粗鬆症セルフチェック

- 最近身長が縮んだ
- 些細なことで骨折したことがある
- 家族に骨粗鬆症の人がいる
- 運動や外出の機会が少ない
- 閉経を迎えた(女性)
- 飲酒量が多い
- やせ型である
- たばこをよく吸う



診断と検査

骨密度測定装置 (DEXA法)

2種類の異なるX線を照射して骨密度を測定する方法で検査します。

検査時間は10分程度でじっと寝ているだけで痛みはありません。



月	火	水	木	金	土
○		○			
○		○			

お悩みの方は**コールセンターへお電話**もしくは**1階予約窓口**までお越しください。



コールセンター電話番号 8:30~17:00 (土曜は12:00)

046-251-8000